

粕谷和夫観察日記。6月17日。八王子・宇津貫緑地の調整池のアサザ。環境省のレッドデータブックでは準絶滅危惧種に指定されているアサザが今年も開花しました。湖面が黄色い花で満たされています。この花の中にカルガモ1羽が飛び込んできました。カルガモも花の開花をよろこんでいるかのように大きな口を開けてくれました。

紅葉台



新聞

第141号

2024年

8月3日

発行人：関谷 孝

遥かなる北アの山々 紅葉台 3街区 合津

(9) 山での怪我・遭難の事象事例に学ぶ

山小屋のアルバイトでお世話になり始めて日も浅いころ 小屋の主人から

ある悲惨な遭難事故をお聞きする機会がありました。

肅然とさせられた記憶に残る事例でした。

その後 『 事例学習は 同類事故を 事前防止する 』との格言にも出会うことができました。

91 ワリモ岳稜線での凍死



「北ア後立山連峰の南部は裏銀座コースともよばれているがその途中のワリモー鷲羽の稜線で 悲惨な凍死事故が発生した。昭和 20 年代の 4 月のこと。

小屋から望めるあの稜線は 北アの中でも烈風が吹きすさぶことで知られている。稜線を避けて黒部川源流に降り元のコースに合流するルートを知っていたら強風を逃れて あるいは 助かっていたのではなかろうか」(三俣蓮華小屋 主人 伊東正一氏)。避難ルートの存在・山岳の全体像を知ることの大切さを具体的事例を以って教えていただきました。

(写真 ワリモ岳から鷲羽岳山上池へ)

92 天候急変・気象遭難 の事例

昭和 38 年(1963 年)1 月の薬師岳 東南尾根での 13 人の遭難事故は 地形をしっかりと認識できていたら あるいは といった事例になりましょうか。

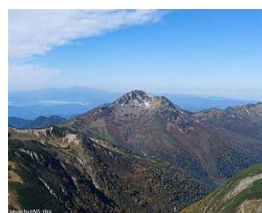
かたや 平成 24 年(2012 年)5 月に発生した 福岡の医師団 6 人の遭難死は地形も知悉したベテランの遭難事故。西風が避けられる信州川にくぼんだ地 一北アの槍三山が眺望できる場所に避難地を求めていたとも推測される稜線上。準備万端で用意されていた雨具・防寒具を身に着ける間もないほどのスピードでみぞれが急襲したのでしょうか。気象遭難という言葉がうかんできます。

(写真 北ア 白馬鑑・鹿島槍・槍ヶ岳の北ア やり三山を望む地)

93 パンパンに腫れ上がった足

某年 7 月 太郎小屋～北の俣～黒部五郎岳～三俣蓮華小屋と山歩する機会がありました。黒部五郎小屋に 11 時ころ到着。所在無げに日向ぼっこしているご

紅葉台新聞は、「高尾フモト同盟」の HP に公開されています。高尾の情報や働く人たちが紹介されています。興味を持った方は、覗いてみてください。また、皆様からの情報や投稿もお待ちしています。



夫妻。聞けば 「すでに滞在すること三日目。足を強打し脹れてしまい登山靴が履けない。湿布薬の効果無し。ヘリの出勤を依頼しているが来てくれない」とのこと。そこで 小生その薬

効を信じて疑わない手持ちのインドメタシン配合の湿布をお渡しして その先の三俣蓮華の小屋へ。翌日雲ノ平小屋に向かおうとしていたところ なんと前日のご夫妻が元気に到着。「ありがとう 脹れは治った」。たまたまの結果かもしれませんが 驚くほどの薬効事例も二回目となりますと インドメタシン万々歳といったところです。

今もって忘れがたい事例の一つになりました。

(写真 黒部五郎岳カールに小屋は建つ)

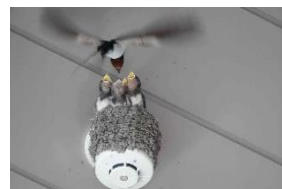
- 時々報じられます山での遭難事故は 貴重な教訓事例として受けとめさせていただいています。
- NHK ラジオで毎週土曜日 08:05～09:55 に放送されている「山カフェ」をたのしみにしています。6/22(土)では なんと 黒部川源流・雲ノ平・薬師沢の紹介と『黒部の山賊』の朗読が放送されました。我が若き日々の眠る地の最新情報でした。

粕谷和夫の観察日記



6月17日、八王子宇津貫緑地での野鳥の定期カウント中、雑木林の一角にオカトラノオの小さな群落があり、虎の尾の白い穂状の花を咲かせていました。すると突然オカトラノオが波打ちだしました。何かとビックリしていると、キジのオスが出ました。2度びっくりです。

6月19日鎌倉駅東口の真上のツバメの巣に巣立ち間際の雛が4羽いて、親鳥が餌を運んできました。巣の真下は改札口で、雛の糞が落ちるときの自動改札口は「閉鎖」されていました。



6月5日長野県入笠湿原に野草の花見に行ってきた。この時期入笠湿原は、スズランの開花が売り物になっています。この虫はアゲハモドキという「蛾」です。蝶との違いは「触覚」の形状の違いです。櫛状をしています。

